

# 「財政健全化計画」を策定

平成18年度～22年度

～将来も持続可能な財政基盤の確立～

## 1. 財政非常事態～41億円の財源不足

本市では、これまでから財政を立て直すため、数次にわたり、行財政改革に取り組んできました。

しかし、これらの取り組みにもかかわらず、本市の財政は、歳入面では、税制改正による市税の伸びは見込めるものの、国の三位一体の改革の推進による国庫補助負担金や地方交付税の削減など減収となります。

一方、歳出面では、急速な少子高齢化への対応など健康、福祉施策をはじめ、教育環境の整備、道路などの都市基盤整備、安全・安心対策、地域経済の活性化、さらには北部地域のまちづくり事業など、市民の要請に応え市民生活を守り高める諸施策の推進を図っていかねばなりません。これらの歳出に対応していくため、その収支不足分を、財政調整基金(貯金に相当するもの)の取り崩しで補填してきましたが、その基金も皆無となる見込みです。

現状のままでの市政運営で推移すると、平成18年度から5年間で累積赤字が約41億円となる見込みです。

## 2. 赤字再建団体を回避

このままでは、平成18年度から赤字となり、平成20年度には累積赤字が約20億円にのぼることが見込まれ、赤字額が標準財政規模(約93億円)の20%を超え、再建団体(民間企業でいう倒産状態)に転落する事態となります。

再建団体になると、国の主導で大胆な歳入歳出改革を迫られ、国の基準を上回る行政サービスは、すべて削減対象となります。

このため、将来にわたる財政の健全化を確立し、市民生活の安定を期すため、平成18年度を初年度とする、平成22年度までの財政健全化計画を策定し、更なる行政改革に取り組むものです。

## 3 基本方針

○向日市行政改革アクションプランの具体的な方策を推進するとともに、歳入規模に見合った財政構造への転換を図り、安定して市民サービスが継続できる財政基盤の確立を目指します。

○人件費、扶助費、補助費などの経常的、義務的経費についても見直しを行い、行財政全般について聖域を設けず、改善に取り組みます。

## 4 計画の数値目標など(主なもの)

- 職員数を平成22年度までに6%、26人を削減し、現在の430人から404人以内とします。
- コスト削減と事務の効率化を図り、事務事業の統廃合を進めます。また、新たな事務事業を実施する場合は、スクラップ・アンド・ビルドを徹底します。
- 市民と行政の役割分担や負担の公平性の観点から、受益者負担の見直しを行います。
- 定型的な業務や市民サービスの向上が期待できる業務について、費用対効果を勘案しながら、指定管理者制度の活用や民間委託の推進を図ります。

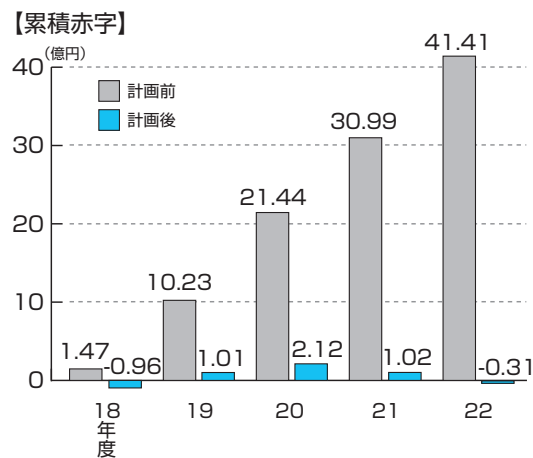
この財政健全化計画は、財政基盤の改善を図り、市民生活の安定が確保され、将来に向かって持続可能な発展を遂げるため、取り組むものです。

今後、市民の皆様には、一部ご負担をおかけすることになりますが、本市の財政状況を十分にご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

財政健全化計画目標額(5年間総額) (単位:百万円)

計画項目	目標額
1 歳入に関する事項	1,259
1 市税の確保	238
2 使用料・手数料等の見直し	260
3 受益者負担の見直し	25
4 資産等の有効活用	181
5 市債(行政改革推進債等の活用)	552
6 その他	3
2 歳出に関する事項	△2,913
1 人件費(職員定数等の見直し)	△563
(職員給与の見直し)	△83
(特別職給与等の見直し)	△147
2 扶助費(福祉関係経費の見直し)	△235
3 公債費(長期借入金の返済金)	25
4 物件費(事務事業の見直しなど)	△400
5 普通建設事業(事業着手時期の見直しなど)	△307
6 補助費等(補助金の見直し)	△152
(負担金の見直し)	△8
7 繰出金(特別会計への財政支援見直し)	△708
8 その他(事業の民間委託の推進)	△93
(公共施設の管理運営の民間委託)	△242
(行政評価システムの導入)	—
(枠配分予算編成の実施)	—
計画目標額(5年間)	4,172
※5年間の財源不足見込額	4,141

## 財政状況の見直し



お問い合わせ 財政課(内線243)

## 市民ハイキング ～嵯峨清滝川コース～

- 日時/11月12日(日) 午前9時、JR向日町駅集合(雨天中止)
- ハイキングコース/JR保津峡駅～落合橋～清滝川～試峠～亀山公園～阪急嵐山駅(約5.5km)
- 対象/向日市在住の方30人(ただし、小学生以下は保護者同伴、ベビーカー不可)
- 参加費/無料(ただし、交通費など実費は自己負担。JR向日町駅～保津峡駅400円、阪急嵐山駅～東向日駅・西向日駅180円)
- 持ち物/弁当・水筒その他各自必要なもの
- 申込み/10月16日(月)から教育委員会生涯学習課スポーツ振興係(内線325)へ(電話申込可)。定員になり次第締め切り。



## バトントワリング 公演会・実技講習会

- 日時/11月19日(日)
  - 公演会/午後0時30分～(開場正午)
  - 実技講習会/午後2時～(1時間程度)
  - ※コンタクト・ロール、2バトン、ダンスから2つを選択し、初級、中級、上級に分かれて受講
- 場所/市民体育館
- 参加費/○公演会と講習会/1階特別席1,500円、2階席(高校生以上)1,000円、2階席(中学生以下)500円
- 公演会のみ/1階特別席1,000円、2階席(高校生以上)500円、2階席(中学生以下)無料
- 出演・実技指導/稲垣正司、立命館大学バトントワリング部ほか
- 申込み/10月20日(金)午前9時～
- ◎市民体育館 ☎932-5011  
市民体育館ホームページ  
<http://www.jade.dti.ne.jp/~muko-gym/>

## 文学講座

### 「歴史小説シリーズ・近世中期編」

- ①11月9日(木) 司馬遼太郎著「菜の花の沖」
  - ②11月16日(木) 杉本苑子著「弧愁の岸」
  - ③11月23日(祝) 井上靖著「おろしや国酔夢譚」
- ※時間はいずれも午後2時～4時

- 場所/図書館
- 講師/秋吉好さん(大阪文学学校講師)
- 対象/向日市在住の方60人
- 申込み/10月20日(金)午前10時から図書館 ☎931-1181へ(保育あり)。



## 65歳からのフレッシュ栄養講座

- 日時/11月10日(金) 午前10時～11時30分
- 場所/向日コミセン
- 内容/めざせ健康長寿、今からでも遅くない、認知症・寝たきり予防「食べて元気、老化にストップ、やさしい食事の話」
- 対象/向日市在住の65歳以上の方30人
- 申込み/健康推進課保健予防係(内線339)へ。定員になり次第締め切り。



## 日曜談話会「向日神社と太閤伝説」

- 向日神社のある山は古くから勝山と呼ばれ、太閤秀吉にまつわる伝説があります。秀吉の時代を偲ぶさまざまなものから、当時の向日神社について検証します。
- 日時/10月15日(日) 午後2時～4時
- 場所/文化資料館2階研修室
- ◎文化資料館 ☎931-1182